

令和7年度

三島中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎学力の定着を図り、個に応じた指導の推進
- 主体的に学習に取り組む習慣をつけるための授業改善

校長

松永 貴史

学力向上推進員

- 校長 松永 貴史 教頭 藤田 勝久 教務 畠中 剛喜
- 1学年主任 大塚みどり
- 2学年主任 福田 恵
- 3学年主任 森下 由美
- 国語科主任 大塚みどり 数学科主任 坂東 哲弥

【各校の取組状況の把握について】

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や教員相互の授業参観等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎・基本となるスキルがある程度身につけたり、与えられた課題にも真面目に取り組めたりできる生徒が多い。 ○1人1台端末を使い、調べたり、まとめたりすることができる。 ●身につけた知識・技能を使った応用が苦手な生徒が多いことに課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能を習得することができる。 ・プリントやワーク等の基本的な問題を確実に解くことができる。 ・身につけた知識・技能を学習の場面や生活の場面に活用することができる。	・つまづいている生徒に対しては、個別指導をしたり、スタディサブリを使って苦手なところを復習したりする等の機会を設ける。 ・授業力向上のための研修や公開授業を実施する。(「教師相互の学び合い」:年間を通して、研修会:2回以上)			

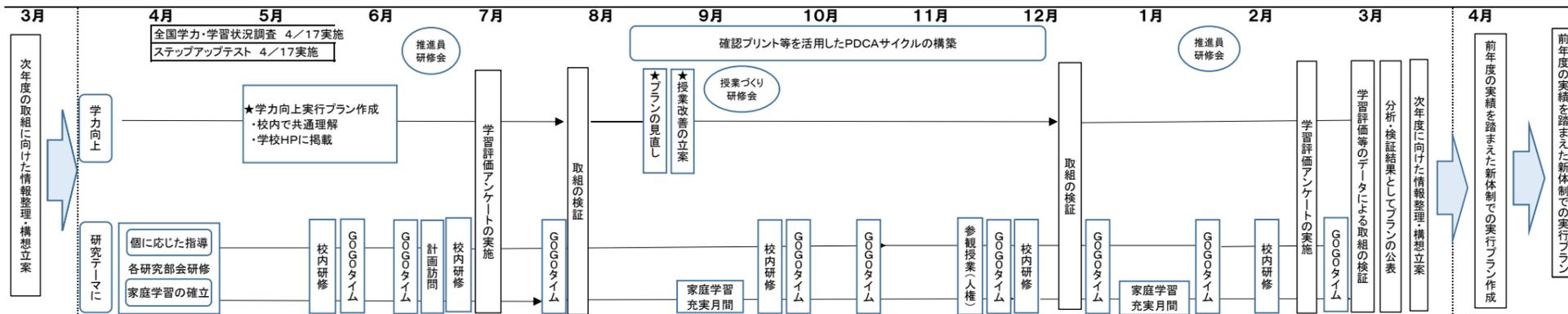
(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○方法や手順が示されている学習に集中して取り組むことができる。 ○グループ活動に取り組んだり、学習アプリを使って学びを深めたりすることができる。 ●自分の考えを相手にわかりやすく伝えることが十分にできないことに課題がある。	・自分の考えを伝えることの大切さを理解するとともに、なぜそう考えたのか根拠や理由を明らかにして、自分の考えをわかりやすく表現することができる。 ・自分の考えだけにとどまらず、仲間とともに共有することができる。	・1人1台端末等を活用し、生徒自身の考えを表現できる機会を増やす。 ・ペア学習やグループ学習等の機会を効果的に設定し、他者と協働して解決することを学ばせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基本的な学習態度が定着しており、与えられた課題に一生懸命取り組むことができる。 ●学校アンケートにおいて「学習が楽しくない」と回答している生徒が多いことが課題である。	・学習に計画性を持ち、長期的に学習を進めることができる。 ・各教科の学習内容で自分の苦手なところや理解できていないところに粘り強く取り組むことができる。	・自己肯定感を高めるしかけを設定し、ポジティブ行動支援を心がける。 ・学習アプリの活用や「GoGoタイム」の実施を通して、意欲を高めさせる。 ・スタディサブリの使用頻度を定期的に確認し、積極的な活用につなげさせる。			

令和7年度 学力向上ロードマップ



※「教師相互の学び合い」(年間を通して、教師同士で参観授業を行い、授業力を向上させる。)